

**「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」
「愛媛らしい食の在り方」「かんきつ王国」勉強会
開催レポート(2025年10月28日開催)**

愛媛県では、地域課題解決と経済活性化を目指し、多様な主体が連携・協働する「えひめ版政策エコシステム」の構築を進めています。その取り組みの一環として「愛媛らしい食の在り方」と「かんきつ王国」をテーマとした勉強会を2025年10月28日(火)に開催しました。



1. 勉強会の概要

- 日時: 2025年10月28日(火)
「愛媛らしい食の在り方」勉強会 10時00分～12時00分
「かんきつ王国」勉強会 13時30分～16時00分
- 場所: テクノプラザ愛媛 テクノホール
- 一般参加者数:
「愛媛らしい食の在り方」勉強会 19名
「かんきつ王国」勉強会 16名

2. 「愛媛らしい食の在り方」勉強会

● 第1部: 情報提供

観光国際課より「観光市場の現状と『食』のビジネスチャンス」、食ブランドマーケティング課より「愛媛の食のイメージ浸透に向けた取組」について情報提供がありました。

愛媛の観光は回復傾向にあり、特に「食」は国内外の旅行者にとって大きな目的となっていること、また県産品のブランド力強化やプロモーションによる販路拡大が進んでいることが紹介されました。一方で、県産食材の魅力はあるものの、全国的な認知度はまだ中位であり、魅力発信の強化が課題として示されました。

● 第2部: ワークショップ

○ 進め方・概要

ワークショップでは、「「愛媛らしい食」は何か」、「鯛めしを広げていくためには」、「「愛媛らしい食」をフックに人を呼び込むには」の3つのテーマにわかれて議論が行われました。

○ 主な内容

参加者からは、愛媛は食材が豊富な一方で「これが愛媛らしい」と言える象徴が定めにくい

こと、しかし地域ごとの個性や食文化の多様性こそが強みであるとの意見が多く出ました。食材の背景や美味しさの根拠となるストーリーを可視化することが価値向上につながる点も確認されました。

鯛めしについては「まずは県民にもっと根付かせたい」という声が多く、3つの地域の特色を活かした展開が観光促進にも有効との認識が共有されました。

さらに、食の魅力を伝えるには、味だけではなく“そこでしか体験できない”風景・暮らし・体験を組み合わせることが重要とされ、釣り体験や宿泊施設での自炊体験などのアイデアが出されました。

今後に向けては、事業者の発信力強化、地域の連携、食文化の継承などを進めていくことが提案されました。



3. 「かんきつ王国」勉強会

● 第1部:情報提供

農産園芸課より「愛媛県の柑橘産業の特徴」、えひめ営業本部より「伊予柑・温州みかんの加工品の広がり」について情報提供がありました。

南予・中予・東予それぞれの特色ある柑橘の産地や、独自品種「紅まどんな」「甘平」による年間供給体制が紹介されました。同時に、急傾斜地の多さや基盤整備の遅れ、高齢化、温暖化による高温障害など、栽培現場の課題も共有されました。

また、加工技術の進展とともに、果皮・果肉・果汁から多様な製品が生まれ、残渣利用も進んでいることが報告されました。

● 第2部:ワークショップ

○ 進め方・概要

ワークショップでは、「「かんきつ王国」の堅持に向けた産地振興とは」、「愛媛全体で「かんきつ王国」のストーリーを創るには」、「実感・体感できる「かんきつ王国」づくりに必要なものとは」の3つのテーマにわかれて議論が行われました。

○ 主な内容

参加者からは、農家の経験を数値化・標準化し、“儲かる農業”を実現するための仕組みづくりが必要との声が多く挙がりました。また、気候変動や急傾斜地への対策、未利用地の活用、加工品の付加価値向上といった構造課題への対応も重要視されました。

ストーリーづくりに関しては、「かんきつ王国」の意味を県民みんなで再定義し、教育やイベントを通じて誇りと関心を育むことが重要であることも整理されました。

さらに、収穫から加工までの一貫した体験や、既存イベントとの連動、県民による“推しみか

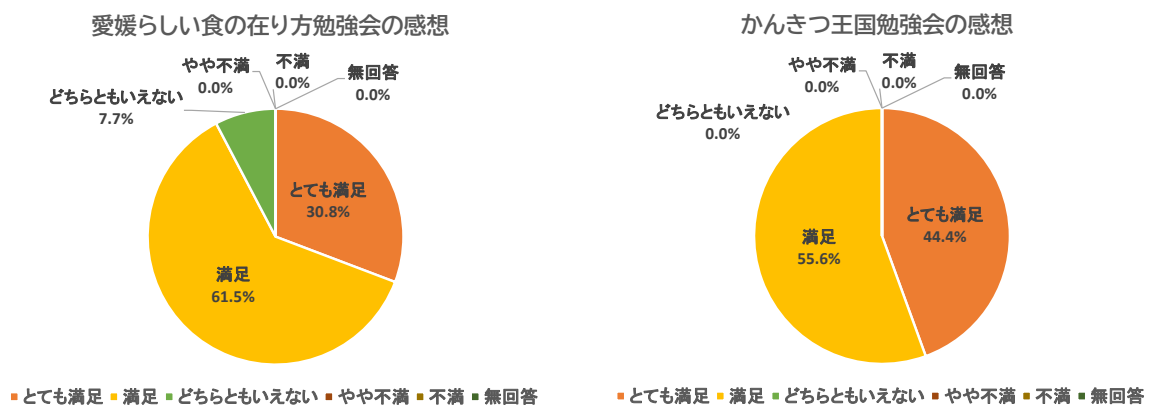
ん”の育成など、柑橘を通じた新たな関わり方への期待も示されました。



4. 参加者アンケート結果

<勉強会の感想>

- ・勉強会の満足度については、「愛媛らしい食の在り方」が「とても満足」30.8%、「満足」61.5%で9割以上の参加者が満足と回答しました。「かんきつ王国」では「とても満足」44.4%、「満足」55.6%で、全員が満足と答えています。



5. 今後の展望とアクション

- ・「愛媛らしい食の在り方」と「かんきつ王国」をテーマとした勉強会は、今後も継続的に開催する予定です。
- ・「愛媛らしい食のあり方」については、年明けの開催を予定しており、本日の議論をもとに具体的なテーマを設定し、議論の深掘りや新たな参加者との連携を目指します。
- ・「かんきつ王国」は、生産者の収穫期を考慮して2月以降の開催を予定しており、開催前にはメール等で参加者の意見を伺いながらテーマを具体化し、議論を重ねていく予定です。